

2020 8 [Aug.] vol.161

セゾン投信 | お客さまへのメッセージ

NEWS LETTER



長期投資仲間へのメッセージ vol.161

「寄り添う運用会社」を目指すセゾン投信

セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

ゲストからの応援メッセージ

第二ラウンドは、もうはじまっているよ

株式会社さわかみホールディングス 代表取締役 澤上 篤人氏

SPECIAL FEATURE

「LINE公式アカウント」

「有人チャットサポート」がスタート!

定期連載ピックアップ

「トコトンコラム」

セミナー&イベント情報

お客さま窓口 営業体制縮小のお知らせとお願い

運用部コラム

買付・解約 受付不可日のお知らせ



「寄り添う運用会社」を 目指すセゾン投信



セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

「セゾン号」の新サービス

セゾン投信に直接口座を開設して下さって「セゾン号」の旅にご参加いただく乗客数がもうすぐ15万人になります。こうしたチョクハンのお客さまが益々心地よく安心して長期投資を継続出来るように、と当社では現在様々なサービスメニューを考案しています。

まず7月にサービス開始した定期換金サービスの「セゾン定期便」。長期投資を続けながら、ご自身の人生プランに立脚して計画的に資産活用(取り崩し)していく、「殖やしながら遣う」新常識の行動規範をオートマチックにサポートする付加サービスです。

同じく最近サービスインしたのが「LINE公式アカウントと有人チャットサポート」です。これから様々なコンテンツを載せていきますが、主目的はLINEを通じたメディアを用意することで、長期投資における楽しさや魅力、或いは不安や悩みも共有され

て、お互いに励まし合って一緒に歩いていける長期投資仲間同志のコミュニティの場を提供することです。

更に年内を目途に準備中なのが、チョクハンのお客さまの為のお金まわり全般に関する個別相談アドバイスサービスです。これも各人の人生プランにおける長期投資の位置づけや諸々のお金における疑問を一緒に考え解決して、最適な将来成果を享受していただくための付加価値提供を目指しています。その他、この先チョクハン顧客の皆さまの満足に繋がるサービスコンテンツを次々増やしていくつもりです。

「寄り添う」とは？

これらの付加サービスは、チョクハンで当社とダイレクトに繋がるお客さまに、トコトン「寄り添う運用会社」を標榜していることがコンセプトの前提です。そして「寄り添う」とは、お客さまおひとりおひと

りと人生軸でお付き合いを続けて、長期投資の目指す成果へとしっかり導いていきたいという当社の意思表示です。

本来、投資信託はファンドを持っていただいた時からお客さまとのお付き合いの始まりであり、その保有目的、即ち将来に向けた長期資産形成で目指すゴールに向けて、一緒に歩いていく存在であるはず。ところが、既存金融機関のビジネスモデルにおいては、投信は販売。つまり顧客に買ってもらうことが目的化されていて、販売が成立するまでがビジネス。買ってもらった後は、「投資結果は自己責任で」が常套のお題目だったわけです。

顧客本位行政への転換

買ってもらった後、その後は無関心・無責任で次のお客さんへ、という変幻極まりない営業姿勢の既存業界における投信取り扱いに対し、抜本的な異議を唱えた金融庁が業界全体に要求したのが、「顧客本位の業務運営」の実践です。顧客本位の根幹は「顧客の最善の利益の追求」で、投資信託販売においては、買ってもらうことを事業目的とする従前の業界常識から脱却して、投信保有を通じて投資目的に沿った成果を叶えるための最善の努力を、すべての金融事業者に求めているわけです。

セゾン投信は「顧客の最善の利益の追求」の体现を、「顧客に寄り添う運用会社」と定義して、チョクハン顧客の皆さまにそこに則った付加価値提供

へと注力することで、業界をリードする「顧客本位最先端の運用会社」を目指しています。

次なる報告書の真意は

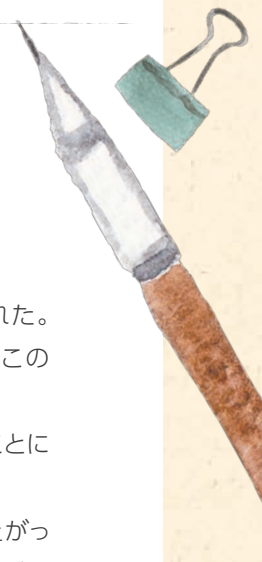
「顧客本位の業務運営」が金融庁の行政方針の中核に据えられてから3年が経ちますが、業界全体にこの概念が浸透したとは言い難く、大半の金融機関が「顧客本位の業務運営に関する7原則」を採択していますが、総体的にはその取り組み状況は表層的な理解と形式的な対応にとどまっており、換言すれば既存金融業界は、自社本位の従来事業モデルから得られる短期的収益基盤への依拠から逃れられぬままです。

そうした実態に鑑みて、昨年の「2千万円問題」で脚光を浴びた金融審議会市場ワーキング・グループは、今般新たな報告書を作成しました。タイトルは「顧客本位の業務運営の進展に向けて」で、私たち生活者が長期資産形成に向けて行動することの社会的必要性を訴え、それを徹底サポートすべき金融業界の社会的使命の実践を強く希求する意欲的な内容です。

私は当ワーキング・グループ委員のひとりとして、今回もこの報告書作成に携わっており、次回は当該報告書の中身を詳しくお伝えしたいと思います。

※有人チャットサポートにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大によるお客さま窓口営業体制の変更に伴い、当面の間、休止しております。

(2020年7月31日)



『第二ラウンドは、もうはじまっているよ』

大躍進、すごいね!

セゾン投信の大躍進、すばらしいね。2007年3月15日に、セゾンの2本のファンドが設定された。その直後の3月30日に、「一緒に良い社会をつくっていこう」という表題で応援メッセージを、この「NEWS LETTER」に書かせてもらった。

その中で、そのうち顧客数も純資産額も爆発的な伸びを示しはじめて、日本中がビックリすることになるだろう。そう書いたが、まさに予測通りの展開となっている。

さらにすごいのは、セゾン投信が日本における直販投信の代表格と目される存在にまで、のし上がってきたことだ。ウチのさわかみ投信も頑張っているが、最近では直販の老舗と呼ばれるぐらい、セゾン投信の勢いに押され気味である。

直販投信の仲間として、結構なことである。この勢いは大事にして、もっともっと伸びていてもらいたいものだ。

本当の勝負はこれからだ

これからの5年間で、われわれ本格派の長期投資家が大いに存在感を高めることになるだろう。ウチのさわかみ投信も、そこにピッタリと照準を合わせていて、想像もつかないほどの大飛躍を狙っている。

どうということか? コロナ問題もあって、世界は前代未聞の規模で大量に資金を供給している。その流れに乗って株価はバブル高となっているが、バブル相場が永久に続くことはない。どこかで大崩れとなるだろう。

きっかけは、実体経済とのカイ離からバブル相場が自然と崩れだすのか、なにか突発事故によるのかは、神のみぞ知るところ。はっきりしているのは、株価のみならず債券はじめ運用商品のほとんどが連鎖して大崩れするだろうということだ。

この40年余り、「資金さえ大量に供給すれば、経済は成長する」のマネタリズム政策で、世界は突っ走ってきた。だが、世界とりわけ先進国経済は思ったほどに成長していない。せいぜい、一部の富裕層と大多数の人々との格差が拡大しただけだ。

その横で、先進国中心に財政はどんどん悪化していき、中央銀行の財務も異常なまでに肥大化していった。そんなところへ、コロナ問題で各国の財政状況は危機的な水準にまでいってしまった。

この先どこかでバブル崩壊ともなると、先進各国そして中央銀行は、もはや打つ手なしの状況に追い込まれよう。世界経済は大荒れとなり、長期金利の上昇やインフレも視野に入ってくる。

当然のことながら、バブル高となっていた世界中の運用商品のほとんどが奈落の底へ叩き落とされる。そこから、真に価値あるものが買われだすのは。

われわれ本格派の長期投資家は、そのあたりをしっかりと読み込んでポートフォリオを構築している。一時的には基準価額の大幅下げも食らおうが、そこから強烈なリカバリーに入る。一方、いまを時めいている多くの運用商品は、收拾のつかない状況に追い込まれよう。われわれ本格派の長期投資との成績差は決定的となる。

ウチもセゾンも、お互い堂々たる勝ち組となるうぜ。それが、本物の長期投資を信じていただいているお客さまのためだ。



PROFILE

株式会社さわかみホールディングス 代表取締役 澤上 篤人氏

1947年3月28日生まれ愛知県出身。
71年から74年までスイス・キャピタル・インターナショナルにてアナリスト兼ファンドアドバイザー。その後、80年から96年までピクテ・ジャパン代表を務める。96年にさわかみ投資顧問(現さわかみ投信)を設立し、99年には「さわかみファンド」を設定。これまで「さわかみファンド」1本のみで純資産は2,843億円、顧客数は11.6万人を超え、日本における長期運用のバイオニアとして熱い支持を集めている。
また昨今は「カッコいいお金の使い方」のモデルとなるべく財団活動にも積極的に取り組んでいる。

「LINE公式アカウント」「有人チャットサポート」 がスタート!

LINE公式アカウント

「友だち登録」をしていただいたお客さまに、各種情報・コンテンツを配信

有人チャットサポート

ホームページにあるWEB小窓及びLINE公式アカウントを通じて「セゾン投信お客さま窓口」の担当者とのチャット相談を提供

◀◀ セゾン投信LINE公式アカウント、チャットサポートの流れ ▶▶



公式アカウント
友だち登録は
こちらから



ID : @840giivr



お問い合わせ前に必ず以下リンクより「チャットサービス利用規約」をご確認ください。
https://www.saison-am.co.jp/support/chat/chat_kiyaku.pdf

※お問い合わせ入力時のご注意
・個人情報は入力されないようお願いいたします。個別のお取引等に関するお問い合わせは「セゾン投信お客さま窓口」にて承っております。
・チャットボットが自動応答します。

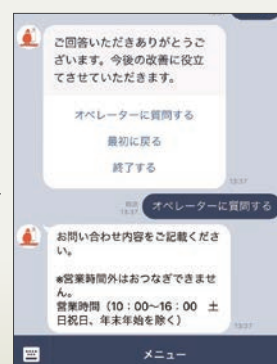
「お問い合わせチャット」を選択するとチャットサポートが開始します。



下のカテゴリから選択してください。

- ログイン
- 口座開設
- つみたてNISA
- その他

質問したい内容を選択すると、チャットボットが回答を表示します(24時間対応)。



ご回答いただきありがとうございます。今後の改善に役立てさせていただきます。

オペレーターに質問する

最初に戻る

終了する

お問い合わせ内容をご記載ください。

※営業時間外はおつなぎできません
営業時間 (10:00~16:00 土日祝日、年末年始を除く)

チャットボットの対応で解決しない場合、オペレーターにチャットで相談できます(営業時間内のみ対応)。

■ LINEメニュー

トコトンコラム	長期投資を継続していく上で役に立つコラムを定期配信
動画で学ぼう	LINE限定動画を配信。リアルセミナーでは見られない貴重な動画も!
セゾン号の道しるべ	積立投資を続けるといくらになる? どれくらいの期間で取り崩しできるの?といった疑問をシミュレーションで見える化!
おカネが「育つ」レシピ	積立王子が教えるお金を育てるヒント ※東急ベル社コンテンツ
お問合せチャット	ちょっとした疑問をチャットボットで気軽に解決 ボットで解決できない問題は有人チャットで対応
インフォメーション	セゾン投信に関連する新情報をタイムリーにお届け



■ チャットサポート

お客さま窓口での電話対応に加えて、気軽にチャットでご相談いただけるようになりました。電話をかけるのはハードルが高い! というお客さまにも寄り添ってまいります。ホームページにあるWEB小窓、LINE公式アカウントからご相談ください。

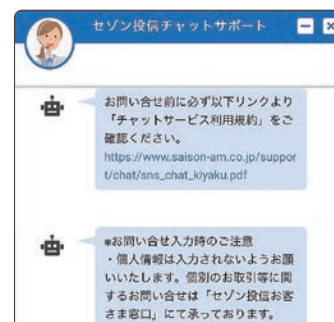
【お問い合わせチャット対応時間】24時間

【有人チャットサポート対応時間】9:00~17:00(平日)

※お客さま窓口営業時間に準拠します。

※現在、お客さま窓口の営業体制縮小中のため、有人チャットサポートサービスは休止しております。

※ご利用前にあらかじめ SNS利用規約、およびチャットサービス利用規約をご確認ください。
https://www.saison-am.co.jp/support/chat/sns_chat_kiyaku.pdf



セゾン投信チャットサポート

お問い合わせ前に必ず以下リンクより「チャットサービス利用規約」をご確認ください。
https://www.saison-am.co.jp/support/chat/sns_chat_kiyaku.pdf

※お問い合わせ入力時のご注意
・個人情報は入力されないようお願いいたします。個別のお取引等に関するお問い合わせは「セゾン投信お客さま窓口」にて承っております。

「トコトンコラム」

ホームページ内の「はじめてのセゾン投信」にはコンテンツが充実しています。

「トコトンコラム」はバンガード社から提供いただいている、長期投資を続けるためのコラムです。

今回おすすめのテーマは

「お金のことが心配なら、今すぐ計画を」(6月24日掲載)

テレワークへの移行など働き方を見直している今こそ読んでいただきたいコラムです。



【冒頭抜粋】

心配とは「不安にかられること、または動揺すること」を指します。

私たちは、問題や不確かな未来を目の前に突きつけられた場合、最悪の事態に備えるためにありとあらゆる可能性を想定し、結末を恐れて行動を先送りにしてしまいがちです。私たちの多くにとって、心配は一時的な感情ですが、中にはそれが体に染みついてしまっている人もいます。

▼続きはホームページをご覧ください。

<https://www.saison-am.co.jp/guide/first/column/vanguard/003135.html>



セミナー & イベント情報



オンラインセミナー

※セゾン投信Webサイトのセミナー情報よりお申し込みください(お申し込み時にメールアドレスが必要となります)。

■セゾン投信のはじめ方～長期投資デビューを応援します～

何事もはじめの一歩を踏み出すには勇気が必要です。そんなご友人はいらっしゃいませんか？ オンラインで、投資信託の仕組みから、2本のファンドの特徴、長期投資の考え方、口座開設までの流れをご説明いたします。質疑応答のお時間もあります！

日 程 2020年8月20日(木) 19:00～20:00

講 師 中野 達仁(セゾン投信 管理部)

お申し込み先 <https://www.saison-am.co.jp/seminar/2020/08/003165.html>



※YouTube Liveでの配信となります。視聴環境によっては回線に不具合が生じる可能性がありますので、予めご了承ください。

●お客さま窓口 営業体制縮小のお知らせとお願い

いつもセゾン投信をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向であることに鑑みて、セゾン投信お客さま窓口における危機管理レベルを更に引き上げる決定を行いました。

具体的には、担当部門であるお客さま窓口を2班体制(隔日出社)とすることで、万一感染者が発生した場合にもお客さま窓口が閉鎖とならないようにするための方策を取らせていただきます。もともと少人数での業務運営を行っている弊社において、通常比1/2へと減員となってしまうことでお客さまにはご不便をおかけすることになり誠に申し訳ございません。

お問い合わせやお取引を承る体制をどのような状況下でも継続することが大事であると同時に、社員の安全確保にも万全を尽くす必要があります。何卒、皆さまのご協力、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

セゾン投信株式会社 代表取締役社長COO 園部 鷹博

■営業時間 10:00～16:00(土日祝日を除く)

※通常の営業時間への再開につきましては、当社WEBサイトに改めてご案内いたします。

※有人チャットサポートは、当面の間、休止いたします。

※お問い合わせチャットサポート(チャットボット)は通常通りご利用いただけます。

※メールによるお問い合わせへの返信および各種変更手続きに通常よりお時間をいただきます。

※セゾン投信ネット取引は通常通りサービスをご利用いただけます。
なお、セゾン投信ネット取引では、「投資信託のご購入・ご解約」「お預かり明細の照会」「各種資料のご請求」などがご利用可能です。また当社WEBサイトには「よくあるご質問」も掲載しております。ぜひご活用ください。

【お問い合わせ先】

セゾン投信株式会社 お客さま窓口

電話番号:03-3988-8668

「分かるものにだけ投資する」

著名な投資家ウォーレン・バフェット氏の言葉として有名なもののひとつに「分かるものにだけ投資する」というものがあります。

1990年代、IT業界への投資が活発化するなか同氏はじっと静観し、2016年になりやっとAppleへの投資を始めたというエピソードがあります。1990年代当時、IT業界は新しい業界であったため、判断材料が乏しく理解が難しかったからです。そして2016年には十分な企業分析ができ、ひ孫たちにApple製品の魅力を質問し自身も理解できる企業だと判断し投資に踏み切ったと言われています。

セゾン投信も似た考えを持っています。例えば、選別された企業への投資を行うセゾン資産形成の達人ファンド。私たちは個別企業に対する深い知見はありません。一般的な分析手法に基づいた評価はできるかもしれませんが、それだけでは他の市場参加者よりも優れたパフォーマンスを得ることは出来ません。

一方、組み入れているファンドの運用者には、企業の成長性や価値の評価を積み重ねた知見がしっかりと存在します。そして実際にそれぞれのファンドが中身を理解できる確信度の高い企業へ投資をしています。彼らは理解できるからこそ長期保有ができるといいます。

また、当社にはファンドの考え方や実行力を評価する経験が蓄積されており、それを基に選別した複数のファンドへ投資を行っています。結果として多くのファンドの中から選別した組み入れファンドが、企業の実態や市場環境を監視し続けていますので、投資家の皆さまは日々のニュースなどに反応し投資行動を変える必要はありません。

日々の価格の上下はありますが、長期的な成果を決定づけるのは企業の実態。時として過剰に反応する市場と距離を置き、常に長期の成果に焦点を当てることが重要だと考えます。




運用部 磯部

買付・解約 受付不可日のお知らせ (2020年8月5日～2020年9月3日)

下記は2020年8月5日現在の当社取扱ファンドの休日(海外休日等)の情報です。
海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。
海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

●セゾン資産形成の達人ファンド

買付・解約 受付不可日 8月31日(月) …… 銀行休業日 ▶ 

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

今月の積立購入での約定日 …………… 8月21日(金)



日本全国 なかのひろ旅

2020年7月8日(水)

できない日記

新型コロナウイルスの関係でしばらく収録ができなかった「はるラジ」。旅日記の更新もまだしばらく先になりそうです。3か月の収録はフリーアナウンサーのうちだまさんモデルに園部とふたりで今後のビジョンを語りました。



事業推進部 増田

スタッフのつれづれだより

部

内では“食に興味がない”ことで有名(?)な私ですが、コーヒーだけは缶コーヒーやインスタントで済ませず、自分でリップしたものを飲んでます。

コーヒーを入れる際にこれだけは!と気を付けていることがあります。それは気泡です。お湯がカップに落ちた後、ペーパーフィルター内のコーヒー殻に小さな気泡が現れれば成功。これがタールのようにドロっとしてしまうと失敗。この見分け方はコーヒー好きの友人から聞いたものです。

最初の頃はうまくできないことが多かったのですが、試行錯誤を繰り返していく内に、今では毎回成功するようになりました。何事も失敗しながら自分で考えて試すことが大切ですね。



管理部 畑中

例

年とは違う今年の夏休み、まだ近場や自宅で過ごす方も多いと思います。

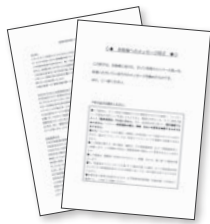
さて、ステイホーム中はYouTube動画を見る機会が増えました。人様の生活を垣間見ることができる家事や掃除をする動画です。物を捨てたり、ただ家事や掃除をするルーティン化された動画を観ていると自粛でモヤモヤした気持ちがすっきりとしました。

その中でも朝からとても丁寧な暮らしをする人たちの生活に特に癒されてました。朝からジョギング、豆から挽いたコーヒー、彩り豊富な朝ごはん、軽く掃除をし、夕ごはんの下ごしらえも。

こんな朝を過ごしたらきっといい一日のスタートになるのでしょう。丁寧で穏やかな暮らしに思いを馳せながら私は今日もパタパタした朝を迎えています。

編集後記

今月号の「ゲストからの応援メッセージ」は、2007年4月の創刊号にご寄稿のさわかみ投信澤上会長(当時は代表取締役社長)です。創業時から現在も変わらずお力添えやアドバイスをいただき、セゾン投信の第2ステージ開幕にあわせて、再び変わらぬ熱量で登場いただきました。創刊号はゲストと中野のメッセージのみというシンプルな構成でしたが、中野の主張はいま読んで、「え、これ最近書いたんじゃないの?」と思うくらい全く変わっていません。WEB版アーカイブで創刊号からお読みいただけますのでぜひアクセスしてみてください(由)



<https://www.saison-am.co.jp/guide/information/archive/2007.html>

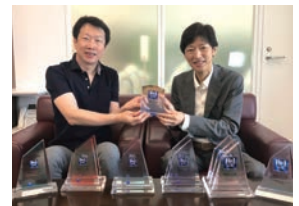
こちらでも
チェック!

セゾン投信SNS

セゾン投信ではフェイスブック、ツイッターなどSNS等でも情報を発信しています。

Twitter (2020年7月2日)

「R&I ファンド大賞 2020」最優秀ファンド賞7年連続受賞の記念が届きました! 過去6年間の記念品と新代表二人です。



積立王子のブログ

(会長 中野晴啓のブログ)

<https://ameblo.jp/saisonam/>



■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万が一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ず販売会社が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動します。その結果、購入時の価格を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬の他、信託財産に関する租税、監査報酬等の諸経費が掛かります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。